



あゝ学舎よ夢多き



根室高校HP QRコード

【1年生】総合的な探究の時間…地域理解への活動

今年度、1年生の総合的な探究の時間では、**地域理解や地域課題を捉えるための新たな活動**が行われています。

3つの活動があり、①探究スキル（探究方法や発表スキルを身に付ける）、②地域理解（地域巡検や地域課題に向き合う）、③自己理解（地域の人との対話もとに課題解決や自己理解を深める）となっています。

探究スキルについては、5月～6月、思考ツール（フィッシュボーン、マインドマップ、ピラミッドストラクチャー）を体験し、探究活動において思考するためスキルを学びました。

地域理解Ⅰについては、SDGsを切り口に根室市の現状を知る活動を行います。7月～9月末、SDGsを学ぶ、新聞を読む①②、SDGsポスター作成①②、SDGsポスター発表を予定しています。

地域理解Ⅱについては、根室市の課題を見つける活動を行います。10月、根室市統計書を読む、根室市の課題①～③、根室市の課題発表が予定されています。

地域理解Ⅲについては、探究を深める活動を行います。10月末、根室高校教育振興会からの支援を受けて、地域巡検事前講話、地域巡検が行われる予定です。



【事業助成贈呈式】令和5年度「教育研究実践校助成」

9月4日（月）公益財団法人 日本教育公務員弘済会から、令和5年度教育研究実践校助成をいただきました。

研究助成の活動として、本校は根室市唯一の高校で、地域からの期待も大きく、地域資源を生かした教育活動が展開されています。根室高校教育振興会からも人的・経済的な支援もいただきながら、個別最適な学びや地域理解を深める取り組みも行われています。その実践の成果や課題をもとに、本校が生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成のための活動を行っていくこととしています。

その他、教育振興事業の令和5年度スクールアシストパックの応募が採用され、デジタル生物顕微鏡を寄贈していただくこととなりました。理科（生物）担当者からは、顕微鏡を使った一斉指導において、観察ポイントを示したり、探究活動にも生かせますと喜びの声があがっています。



【地域連携】共生社会の実現に向けて … 家庭科での外部人材の活用

9月4日（月）、2年生家庭科の授業において、地域人材・外部組織と連携した授業が行われました。

講師として、一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会会長 佐々木寛 様をお招きしました。

講演テーマ「共生社会の実現に向けて」

冒頭に、ある絵が提示され、どの様に見えるかとの質問から始まりました。人の顔、置物、壺？など、視点を変えることでいろいろな見方ができる絵でした。

この絵をもとに、人も同様で、人にはいろいろな側面や個性がある。人それぞれが違っていて当たり前。しかし、違った人を除外してしまう。諸外国の人は違って当たり前という意識がある。

実は、日本の歴史を紐解くと、戦後、経済が大きく発展していく中で、同品質で大量生産が一齐になされ、同質性が求められ、異質なものは良くないものとなっていった。しかし、現代は多様性の時代となってきている。

人のための何ができるか、いずれは自分に跳ね返ってくる。人のために行動を起こしてみてもどうか、ついては自分を磨くことに繋がる。豊かな人生を歩むためには必要なこと。

以上、様々な人と協働して、よりよい社会の構築に向けていくためには、障がい者との関わり方、さらに、共生社会の実現に向けた活動の大切さを教えていただきました。

生徒達は話が進むにつれて、講師の話に引き込まれていきました。



【生徒指導部】あいさつ運動のはじまります

9月11日（月）～15日（金）まで5日間、あいさつ運動が行われます。

この運動は、挨拶は基本的な生活習慣の一つであることや、挨拶の大切さを知ることが目的としています。生徒会自治委員が中心となり、毎朝、玄関で行います。

【あいさつの意味】

相手に対するねぎらいや体調など気遣う言葉であると言われていています。

「おはよう」は、朝早くから働いたり、活動することへのねぎらいの言葉です。

「こんにちは」は、今日の気分や体調はどうですか？ など相手の状態や体調を気遣うことから来ています。

言葉を発するだけでなく、相手意識を持って、「おはよう」、「こんにちは」を言ってみてはいかがでしょうか。

思いを込めて、自治委員の皆さん、よろしくお願いします。